

おはつた北海、こ真毎のそそ



### 植林の予定

雨竜郡幌加内町の朱鞠湖のほとり、東西30km南北50kmにわたって北海道大学雨龍研究林が広がっており、ここでは人と自然との共生をテーマとした教育研究が行われています。プレゼント・ツリーinHokkaidoでは、同大学の森林再生に関する研究をサポートするため、この研究林の中で10,000㎡のササの草原を森へと再生させます。



植えるのは針葉樹であるアカエゾマツですが、広葉樹はあとから自然の力で再生し、豊かな針広混交林が形成される予定です。



▲苗畑の様子(2005年10月撮影)

苗木は今、名寄市にある雨龍研究林・林木育種試験地の苗畑で、すくすくと育っています。植林場所と苗畑では気温の差があるため、その差が比較的少ない9月に苗木を植林場所の環境に慣らしてから植林を行います。

植林場所は研究林の中であるため、見学を希望される方は、NPO 法人環境リレーションズ研究所までご相談ください。

<http://www.env-r.com/tree/uryu/> TEL 03-5283-8143



この運動は、参加していただいたみなさまはもちろん、参加者の「姿」をご覧になった方々にも、『ホメ捨てはいけないこと』として実感していただき、ナーリーについて考える「きっかけ」としていただきたいと思います。この運動をきっかけに、ナーリーについて考えていただく人々が増え、札幌の街がよりきれいになればと思います。

Jでは、街の環境美化への取り組みとして市民参加型の清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」を全国で展開しています。

にご参加いただけますありがとうございます。

